

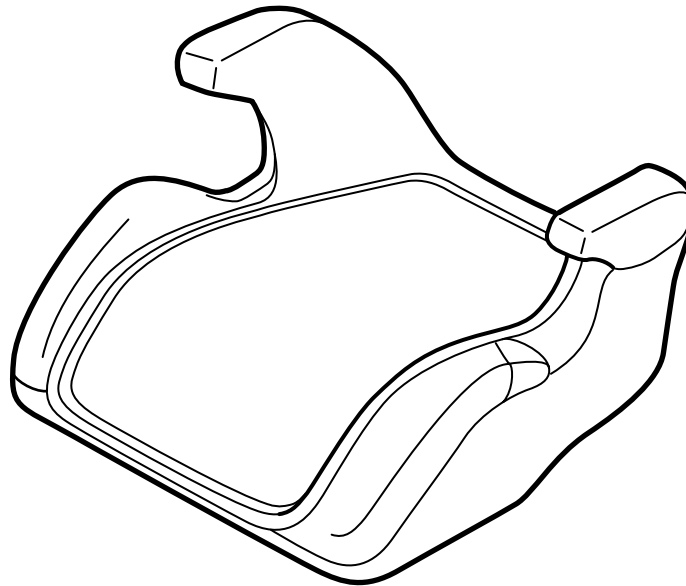


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

Saab 9-3, Saab 9-5

ベルトクッション "Saab Booster Cushion"

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 799 915	9:88-17	Jun 02	12 799 000	



E980A423

重要事項

ページ 2

取り付け

ページ 3

重要事項



警告

ベルトクッション使用の前には、この手引き全体をよく読んでおくこと。ベルトクッションは、**いかなる場合であっても**この取付説明書に説明してある方法以外の方法で取り付けを行ってはならない。

ECE R44 のグループ 3 規格に準拠して、6～10 歳児または体重 15～32 kg くらいの子ども用として前向きの取り付けが認められている。このベルトクッションは、ECE R16 規格または他の同等な規格に準拠して認可された 3 点式シートベルトと組合せた使用のみが認められている。



警告

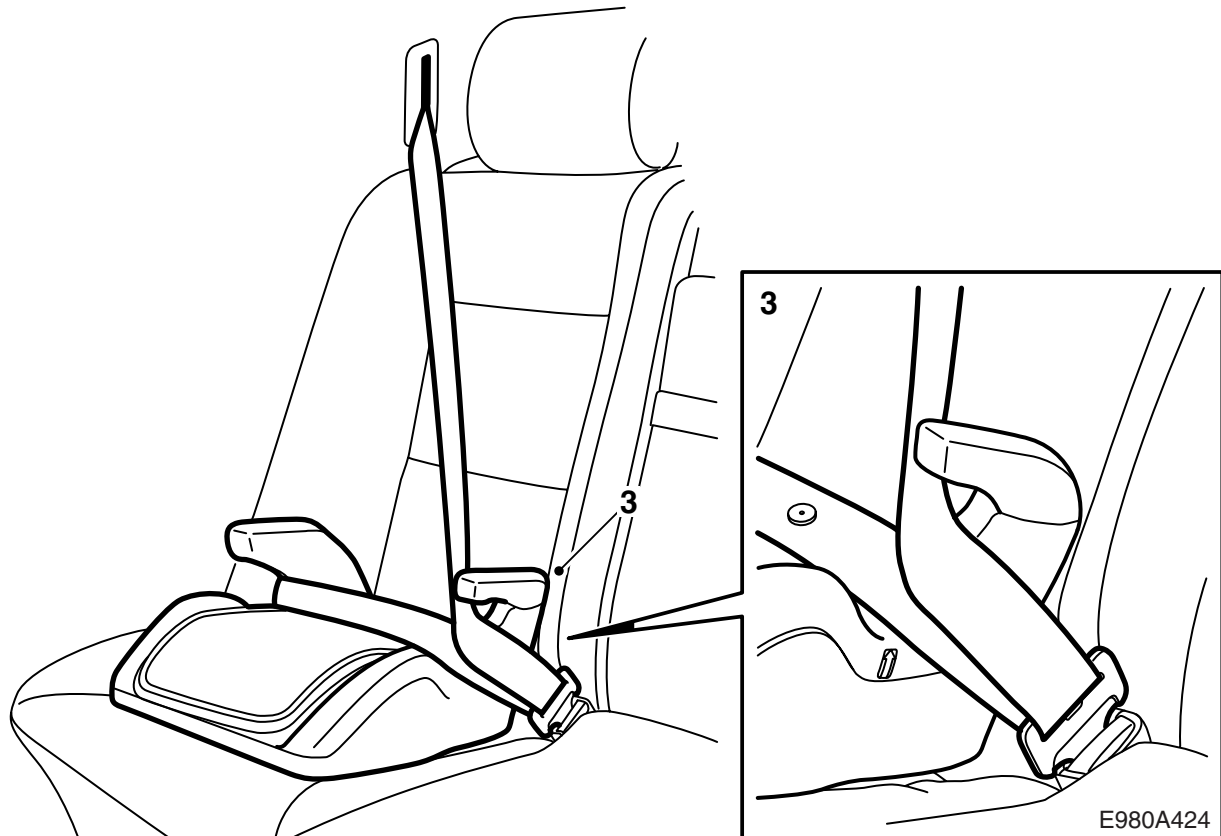
車の助手席にエアバッグが装備されているのであれば、その席にはベルトシートを**絶対に**装着してはならない。

助手席にベルトクッションを取り付ける前には、その席にエアバッグが装備されていないことをきちんと確認すること。助手席にエアバッグが装備されている場合には、助手席シート前のインストルメントパネル上に **AIRBAG** および / または **SRS** のマーキングが施されており、助手席側サンバイザーもしくはインストルメントパネル助手席側端面に表示ラベルがある。さらに、一部の市場では、助手席前のインストルメントパネルケーシング上もしくはサンバイザー上にもラベルがある。

重要事項

チャイルドシート配置方法についてはその国の規則を遵守すること。

- ベルトクッションは、ヘッドレストがある座席に取り付ける**必要がある**。
- 短い距離を走行する際であっても、**必ず**子どもにきちんとチャイルドシート着用させておくこと。
- チャイルドシートを固定保持するベルトが、ピンと張ってゆるみがなく、ドアに挟まれていないことを確認する。
- チャイルドシートのベルトがねじれておらず、子どもの体にぴったり密着しているようにする。おなかではなく腰骨に腰ベルトがかかっていることが重要である。
- ベルトクッションに子どもを一人にしたままに残すことは絶対に避けること。
- 衝突事故にあったベルトクッションは、**絶対に**再使用してはならない。
- チャイルドシートは、例えば車のドアに挟まれると損傷する場合がある。
- 直射日光にあたっているとベルトクッションが大変熱くなることがあるので注意する。
- メーカーの許可なしに、チャイルドシートになにかを加えたり変更を施したりしてはならない。
- チャイルドシートは、子どもが乗車していない場合でも**必ず**車にきちんと装着しておくこと。そうしておかないと、急ブレーキをかけた際や衝突時に固定されていないチャイルドシートによって運転者や乗員がけがをする恐れがある。
- 車に可倒式のリアシートがある場合は、起した位置にバックレストがきちんとロックされていることを確認すること。
- 全ての荷物は、きちんと固定しておくこと。
- チャイルドシートは、シート地を除去した状態で使用してはならない。また、純正シート地の使用だけが認められている。
- 洗濯方法：
チャイルドシートのシート地に縫付けてあるラベルを参照のこと。
- 質問があるときは、最寄の Saab ディーラーと連絡のこと。



取り付け

⚠ 警告

車の助手席にエアバッグが装備されているのであれば、その席にはベルトシートを**絶対に**装着してはならない。

助手席にベルトクッションを取り付ける前には、その席にエアバッグが装備されていないことをきちんと確認すること。助手席にエアバッグが装備されている場合には、助手席シート前のインストルメントパネル上に **AIRBAG** および/または **SRS** のマーキングが施されており、助手席側サンバイザーもしくはインストルメントパネル助手席側端面に表示ラベルがある。さらに、一部の市場では、助手席前のインストルメントパネルケーシング上もしくはサンバイザー上にもラベルがある。

- 1 ベルトクッションを車のシートに配置し、車のシートバックレストにぴったり密着させる。ベルトクッションは、ヘッドレストがある座席に取り付けること。
- 2 ベルトクッションに子どもを載せ、バックレストにゆったり背中をもたれかからせた状態で座らせるようにする。
- 3 肩ベルトと腰ベルトの両方を子どもに着用させ、ベルトをロックする。肩ベルトと腰ベルトは、両方ともシートベルトバックル側でベルトクッションベルトガイドの下を通し、反対側は、腰ベルトのみをベルトクッションベルトガイドの下を通すこと。

- 4 チャイルドシートのベルトがねじれておらず、子どもの体にぴったり密着しているようにする。おなかではなく腰骨に腰ベルトがかかっていることが重要である。肩ベルト部分は、子どもの肩にきちんとかかっていること。